

心齋橋駅(地下鉄御堂筋線・長堀鶴見緑地線)③

大坂初の蘭学塾・絲漢堂と油掛地蔵

長堀橋駅(地下鉄堺筋線・長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.121

地下鉄心齋橋駅

①心齋橋頭彰碑

岡田心齋が架橋したといえます。心齋橋は、かつては書肆、書林が並ぶ出版業のまちで井原西鶴『諸艶大鑑』、上田秋成『雨月物語』、大塩平八郎『洗心洞筋記』、頼山陽『日本外史』といったベストセラーが心齋橋から出版されました。近松門左衛門も心齋橋の書林「風月堂」で亡くなったという説があります。

②橋本宗吉絲漢堂跡

橋本宗吉は宝暦13年(1763)、北堀江生まれの傘屋の紋描き職人ですが、才能を認められて江戸へ留学。わずか4カ月で4万語のオランダ語を習得したといえます。大坂最初の蘭学塾・絲漢堂を開き、「大坂蘭学の始祖」と讃えられ、弟子に中天游(思々齋塾)、孫弟子に緒方洪庵(適塾)、曾孫弟子に福沢諭吉(慶應義塾)がいます。



③鰻谷(俳人・上島鬼貫終焉の地)

上島鬼貫は万治4年(1661)に伊丹の酒造屋に生まれましたが、俳諧に目覚め、享保3年(1718)に『獨言』を刊行。「誠の外に俳諧なし」と独自の俳諧論を極め、

「東の芭蕉、西の鬼貫」と賞されました。元文3年(1738)、鰻谷と三休橋の交差から一町南の辻にあった「龜屋」で死去。享年78歳でした。

④長堀の石浜

かつて長堀川には石屋が立ち並び、摂津の御影石、播磨の立山石、泉州の和泉石、京都の白川石、紀伊の大崎石、近江の木戸石など、全国各地の名石が集積し、名工たちが鳥居や橋、灯籠、手水鉢、道標、石仏、石臼などを制作しました。ただの石が彫刻されて姿形を変えていく有様は、まるで魔法のような光景で浪花名所として有名でした。石浜を模したモニュメントがクリスタ長堀東端にあります。

⑤油掛地蔵尊

かつて当地には明善寺がありましたが、昭和20年(1945)の空襲で焼失。しかし、境内にあった油掛地蔵尊は線香立ては割れましたが、奇跡的に無事でした。

「なぜ油をかけるのか」は謎ですが、江戸時代に遊女が折檻されて体に油を注がれたときに、地蔵尊が身代わりとなって救ってくれたことが由縁…という説があります。

⑥長堀橋跡記念碑

長堀川に最初に架けられた橋で江戸幕府が管理する公儀橋でした。しかし昭和46年(1971)、モータリゼーションを偏重した都市計画によって川は埋め立てられてしまい、橋はなくなってしまいました。



地下鉄長堀橋駅

